

障がい学生支援

担当:学生支援課

障がい学生と共に

本学における障がい学生への修学支援に関する基本姿勢は、教育の機会均等を保障するため、またノーマリゼーション※の理念を具現化するため、障がいのある学生ができる限り支障なく講義等を理解できるよう必要な措置を講じることを目標としています。

「開かれたキャンパス」をつくるため、学生・教員・職員の一人ひとりが協力しあうことが必要です。支援を必要とする方が周囲におられたら、積極的に行動してください。

※ノーマリゼーション…障がい者が可能な限り、障がいのない生活(ノーマルな生活)に近づくことができるように条件を整えること



実施している支援

●視覚障がいのある学生への支援

- 授業教室の配慮
- 試験問題の点訳
- 解答用紙の墨訳
- 試験時間の延長
- 対面朗読
- 支援用具の貸与
(携帯型拡大読書器、携帯型電子ルーペ)

●聴覚障がいのある学生への支援 **POINT!**

- 授業、ガイダンス等でのノートテイクおよび手話通訳者の配置
- 支援用具(ペンライト・バインダー等)の貸与
- 肢体障がいのある学生への支援
 - 授業教室の配慮
 - 介助者の配置
 - テキスト等一時保管用ロッカーの貸与
 - 車両乗り入れ許可

聴覚障がい学生支援スタッフの募集！ (ノートテイク・手話通訳)

本学では、聴覚障がいのある学生が講義や各種講座を支障なく理解できるよう、ノートテイク(※)および手話通訳による支援を行っています。

現在、手話サークル(本学公認課外活動団体)ならびにボランティアに関心、興味のある学生約60名の有志が同制度に登録していますが、利用者と登録者の履修状況が合わず、曜日・時間によっては支援できない場合があります。障がい学生が円滑に修学できる教育環境の整備に努めていくうえで、在学生皆様のご理解ご協力が必要です。学部・学科は問いません。積極的にご協力をお願いします。

希望者は学生支援課にて登録してください。

※ノートテイク…発言者の音声を変えて伝える通訳方法。「筆記通訳」「要約筆記」ともいいます。

通常、授業中にとるノートは、授業の重要なポイントをまとめて記録するものですが、ノートテイクはこれと異なり、「今、何が話されているのか」をリアルタイムに利用者に伝えるものです。つまり、「ノート」(記録)ではなく、「文字による通訳」(伝達)である点をご理解ください。

ボランティア

担当:ボランティア室

ボランティア活動を積極的に支援

本学では、学生のボランティア活動を推進・支援するためにボランティア室を設置しています。ボランティアに関して気軽にお問い合わせください。

●ボランティア室(7号館2階)

- 開室時間:月～金 9:00～16:30
土 9:00～12:00
(日祝日、大学が定めた休日は閉室)
- E-mail: buvcc@bukkyo-u.ac.jp

ボランティア室
学生スタッフ募集!!
さまざまなボランティア活動、企画等をしてみませんか。職員、学生スタッフ一同心よりお待ちしております。

ボランティア室の主な活動

●ボランティア活動の紹介

学外の施設、団体からボランティア募集が多数寄せられています。